

詩を学ぶ [後期]

講師：林望（詩人・国文学者）

◇ 火曜日 19:30~21:00 ◇ アーカイブ配信 全15回

カリキュラム

授業回	授業内容
第1回	日本文学の精髓は「うた」にあった。ではその、「うた」はどのように読まれ味わわれたか。和歌と謡曲を素材に「読みかた」を考える。
第2回	無意識のなかの歌の感じかた。北原白秋作詩『この道』を素材として、なぜこれが名曲として広く歌われるのかを考察する。併せて日本語の母音の問題に及ぶ。
第3回	日本歌曲の曙。滝廉太郎の『花』（武島羽衣作詩）を、どのように読むべきかを考える。併せて「ん」の問題に及ぶ。
第4回	近代詩と、その歌曲化を考察する。（1）佐藤春夫『しぐれに寄する抒情』を素材に。はたしてこの詩は正しく解釈された上で作曲されているか？
第5回	近代詩と、その歌曲化を考察する。 （2）歌曲『さくら横ちょう』（加藤周一作詩、中田喜直作曲）を巡って。
第6回	日本語詩と外国語詩の大きな溝。歌と漢詩文について。 鳥居忱 作詩『箱根八里』（滝廉太郎作曲）の詩の背後にあるもの。
第7回	北原白秋の詩と歌。『城ヶ島の雨』（築田貞 作曲）を精密に読んでみる。
第8回	その2（前回の続き）
第9回	野口雨情の詩『七つの子』（本居長世 作曲）を読む。
第10回	三木露風の詩『ふるさとの』（斉藤佳三 作曲）の解釈と、その歌曲化の問題。
第11回	日本文学の「発想」ということ。勝田香月 作詩『出船』（杉山長谷夫 作曲）を素材として考える。
第12回	田中冬二の詩の美しさ。処女詩集『青い夜道』から。『みぞれのする小さな町』『くずの花』を読む。「書かれていないものの意味」について考える。
第13回	自作詩の歌について その（1）夢の自作詩の歌について、『夢の意味』（上田真樹 作曲）の意味すること。
第14回	その（2）『旅のソネット』（二宮玲子 作曲）について。
第15回	その（3）『追憶三唱』（深見麻悠子 作曲）について。